



TO REST DECK LOUVER

トゥレスト デッキ / ルーバー



永和床株式会社



トゥレストデッキは お客様の多様なニーズに お応えいたします。

私たちの生活シーンを構成するさまざまな建築物。
イベント施設や学校、そしてビル・住宅。
そこで求められるのは、
安心して快適に使用できる「優れた構造的」です。

トゥレストデッキは、
人工木と鋼製床下地をセットで使用することで
「優れた構造的」を実現。
防音・防振にも対応、
高耐食鋼板の使用で、優れた耐食性をも発揮します。
床高の低い場所から高い場所まで柔軟に対応することが可能です。



To REST DECK

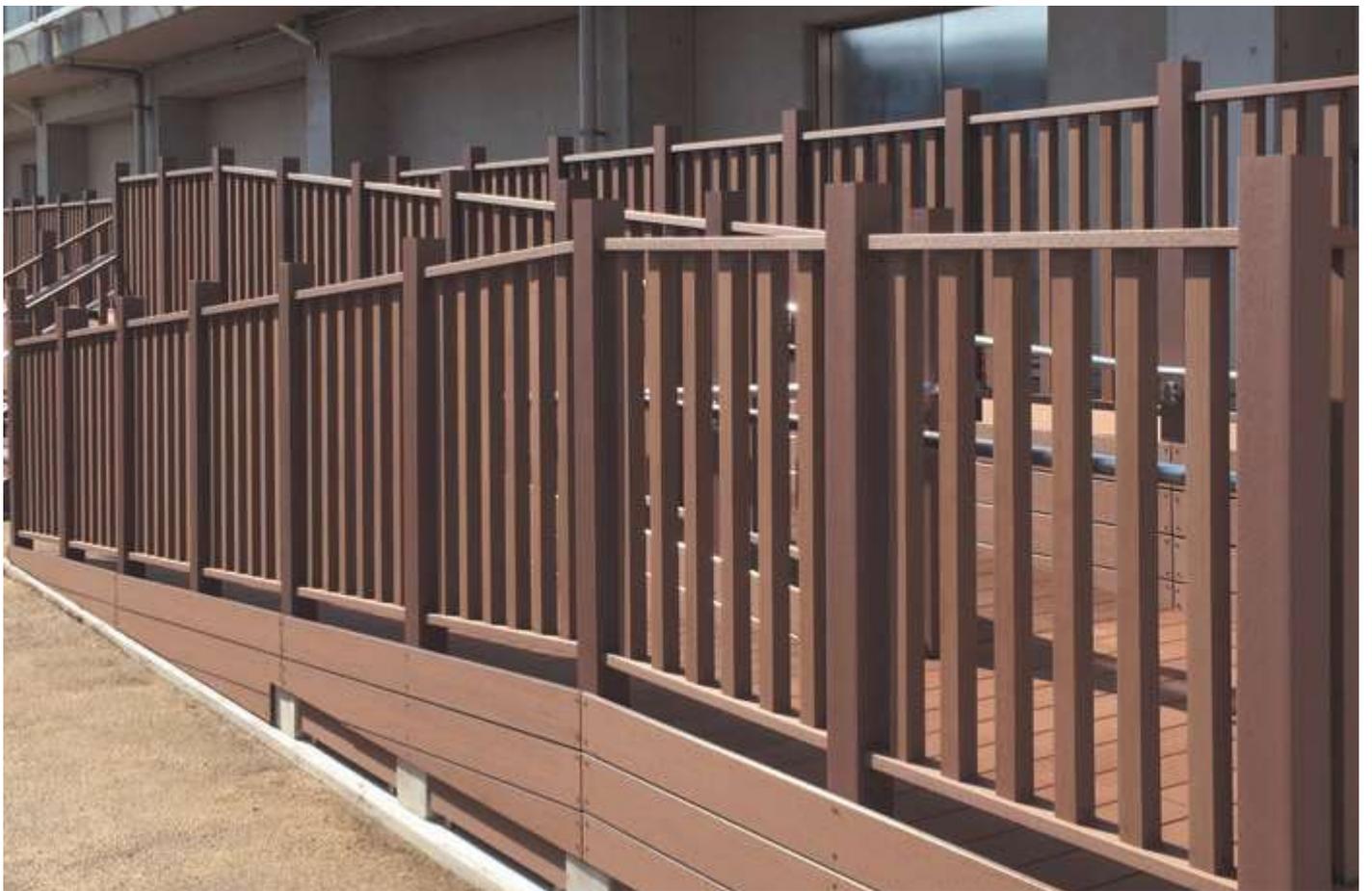
トゥレストデッキ

CONTENTS

建築物事例	03
デッキ用グレーチング/ ウッドデッキ加工例	07
トゥレストデッキ図面	07
トゥレストルーバー	11
下地構成材ラインナップ	13
高耐食用	14
取扱い注意事項	14

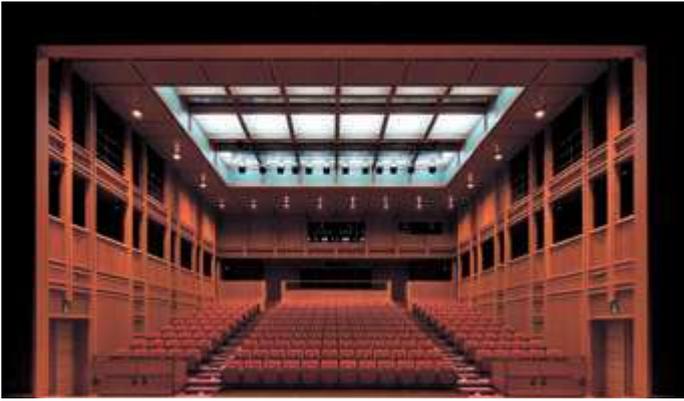
TO REST DECK トウレストデッキ







ホール



斎場



階段



ブロックタイプ



ツリーサークル



トイレ



戸建



コテージ



To REST DECK トゥレストデッキ

加工

デッキ用グレーチング

ウッドデッキ加工例（コーナー加工）

グレーチングの幅、厚みはデッキ材と同じにしています。
裏打剤は「錆」に強い高耐食溶融めっき材、また「取り外し握手」はステンレス製となります。

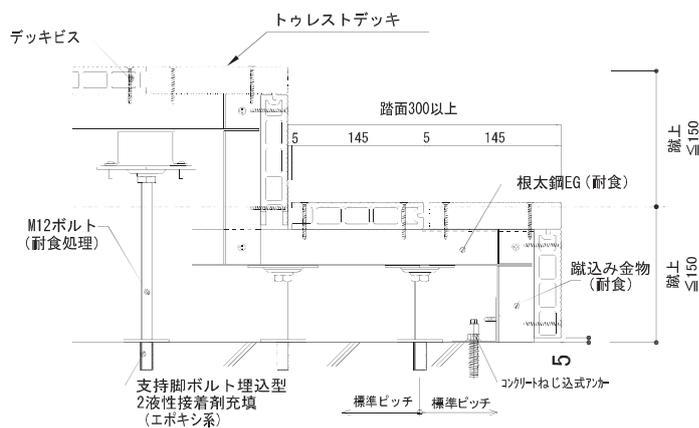
熱曲げ加工によりデッキのコーナー（角）部分を R 加工にすることが可能です。
コーナー部分で脚や頭を打ち付ける怪我のリスクを軽減できます。



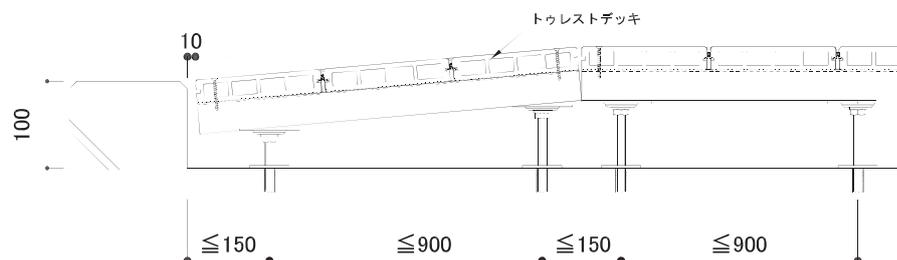
床高別標準表

床高さ(mm)	41~95	90~300	130~400	150~400	250~900	901~
支持脚タイプ	直置	埋込シングル	埋込ダブル	接着ダブル	スタンド	パイプ
図						

階段納まり

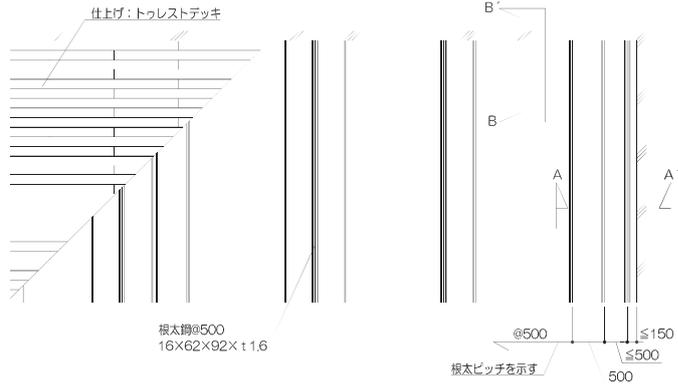


スロープ納まり

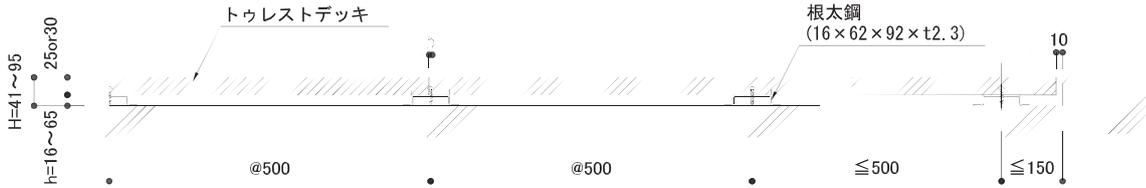


基準仕様

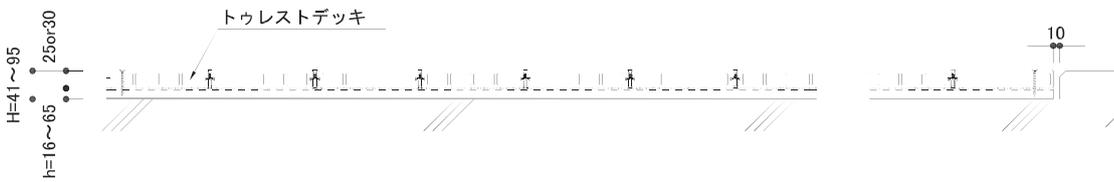
床高さ 41~95



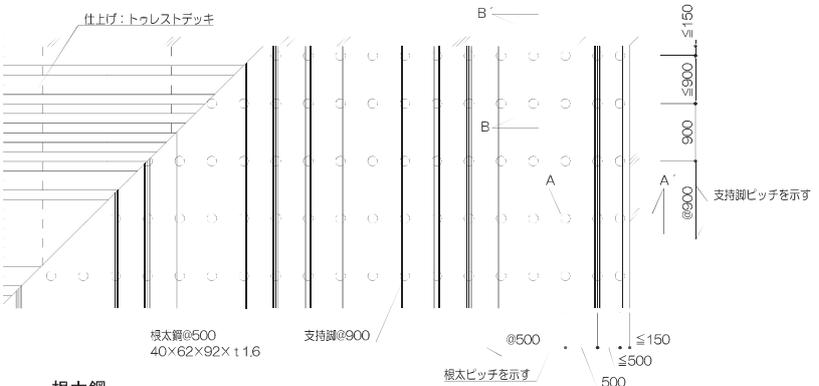
A-A' 断面図



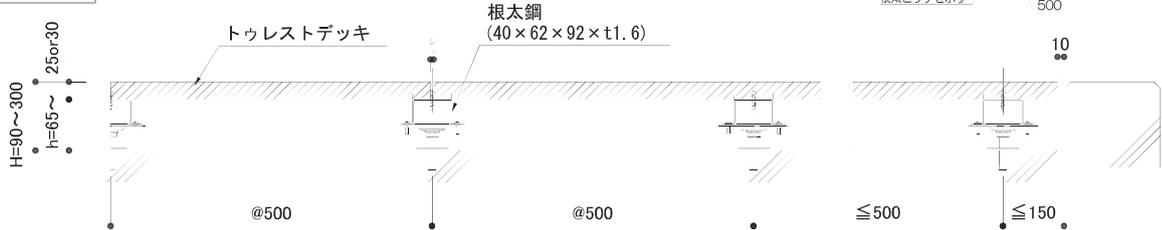
B-B' 断面図



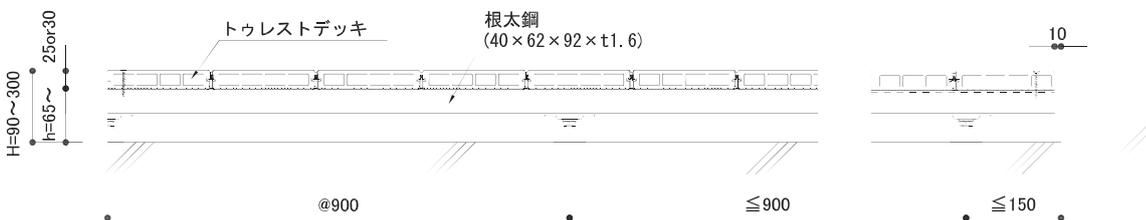
床高さ 90~300



A-A' 断面図

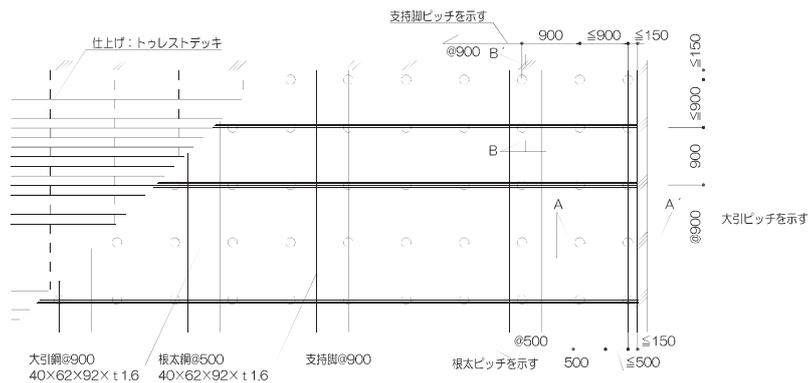


B-B' 断面図

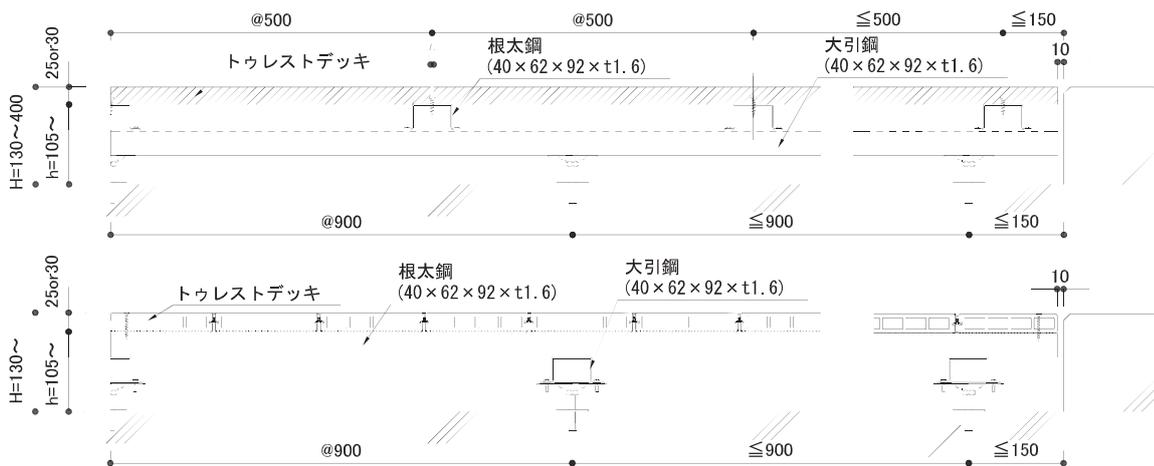


To REST DECK トウレストデッキ

床高さ 130~400

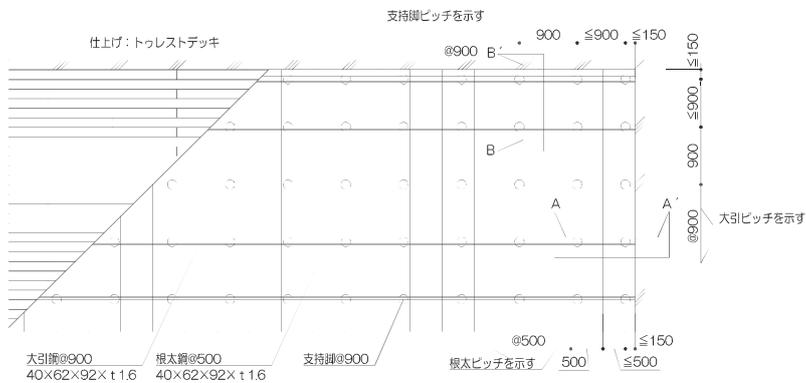


A-A' 断面図

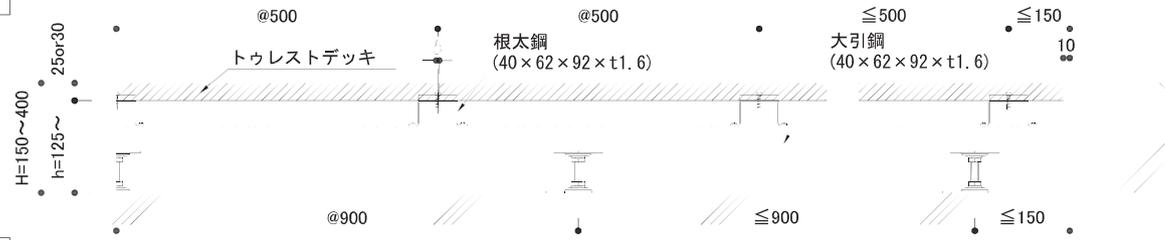


B-B' 断面図

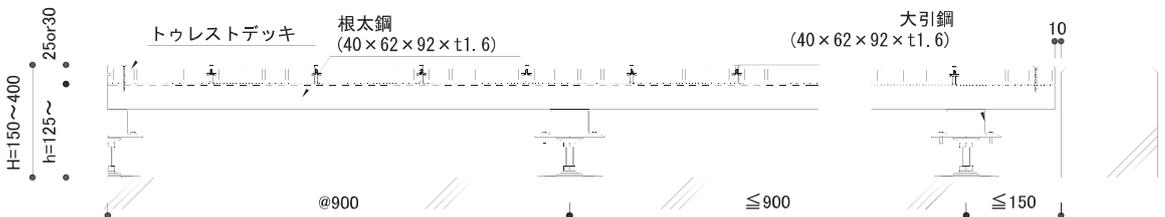
床高さ 150~400



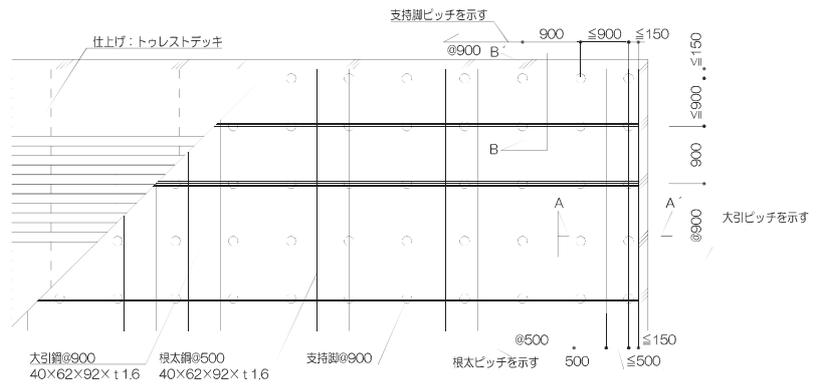
A-A' 断面図



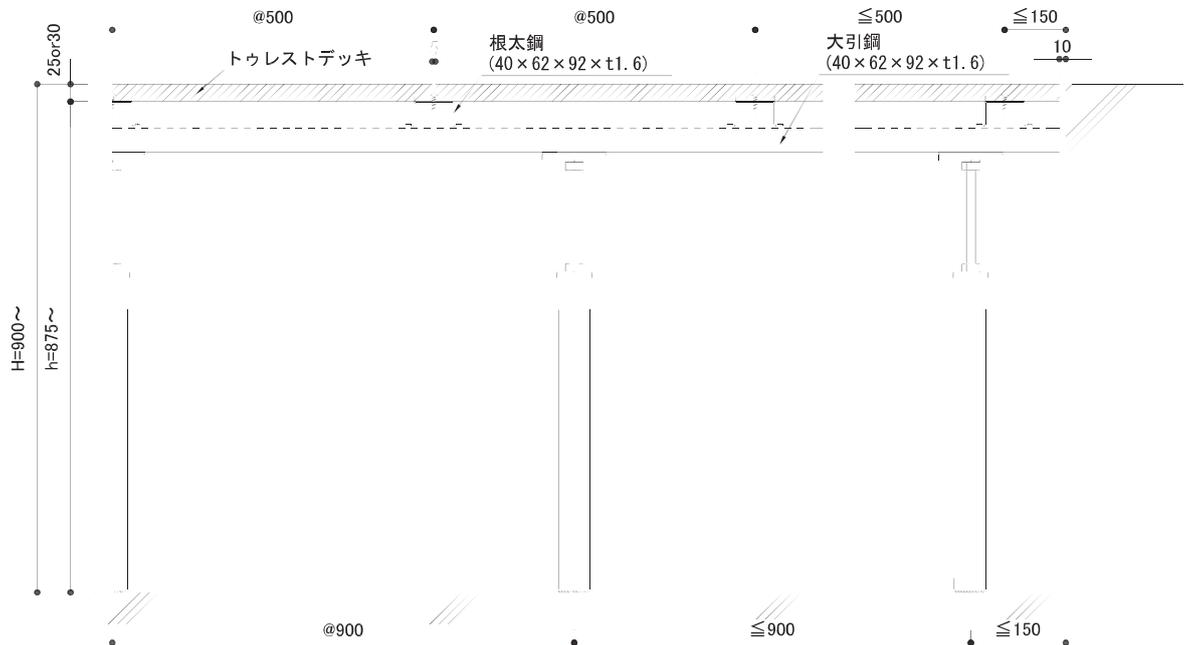
B-B' 断面図



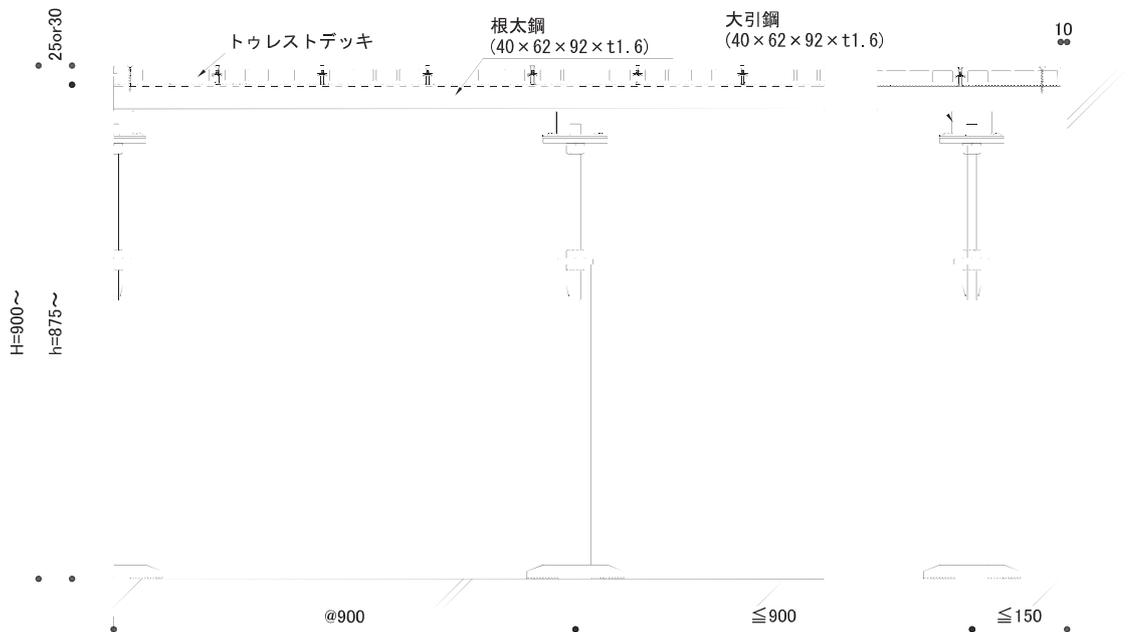
床高さ 901~



A-A' 断面図



B-B' 断面図



To REST LOUVER トウレストルーバー



下地構成材ラインナップ

支持脚（耐食処理）

超低床用（根太鋼シングル）



高床用（根太鋼+大引鋼）
鎮止め・アンカー工法

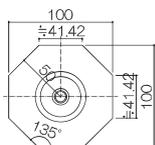


※露出防水の対応は、ご相談下さい。

脚タイプ	形状	適応高さ(mm)	調整しろ	高	
低〜中床用	A脚	根太鋼ES+大引鋼E クロス	230~450	±20	↑
	LH八角脚	根太鋼ES+根太鋼EM クロス	150~450	—	
超低床用	LH八角脚	根太鋼シングル	100~300	—	↓

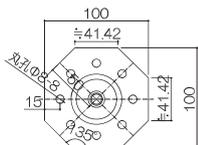
※根太鋼高さの表示です。（デッキ仕上材高さは含んでおりません）

8角支持台-100



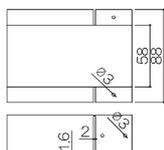
JIS G 3317
JIS G 3323
(高耐食溶融めっき鋼板及び鋼帯)

接着用8角支持台



JIS G 3317
JIS G 3323
(高耐食溶融めっき鋼板及び鋼帯)

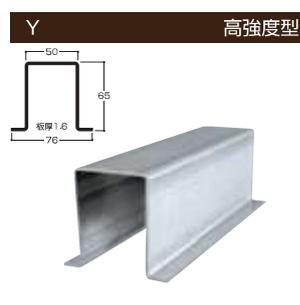
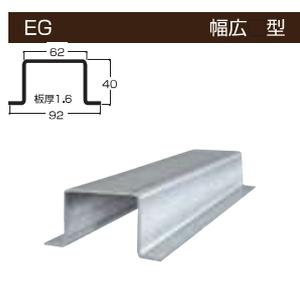
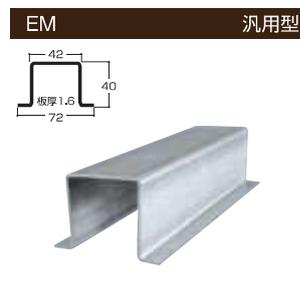
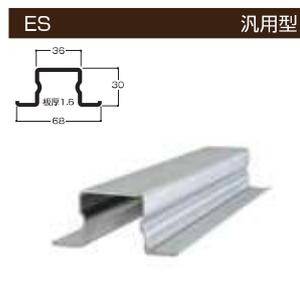
幕板金物



JIS G 3317
JIS G 3323
(高耐食溶融めっき鋼板及び鋼帯)

根太鋼・大引鋼（高耐食用）

低床用：各根太シングル流し



割付間隔（シングル）

(mm)

部材名称	支持脚間隔	根太鋼間隔	許容荷重 kg/m ² (N/m ²)
ES 汎用型	900	450	449(4400)
		500	404(3959)
EM 汎用型	1000	450	653(6399)
		500	588(5762)
EG 幅広型	1200	450	442(4331)
		500	398(3900)
Y 高強度型	1500	450	635(6223)
		500	572(5605)

割付間隔（クロス）

(mm)

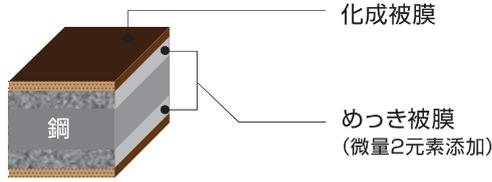
部材名称	支持脚間隔	大引鋼間隔	根太鋼間隔	許容荷重 kg/m ² (N/m ²)
根太鋼-ES+大引鋼-ES	675	900	450	426(4175)
			500	383(3753)
根太鋼-EG+大引鋼-EG	900	900	450	476(4664)
			500	432(4233)
根太鋼-EG+大引鋼-E	900	900	450	558(5468)
			500	502(4919)
根太鋼-EG+大引鋼-Y	900	900	450	883(8653)
			500	794(7781)
	1350	900	450	353(3459)
			500	348(3410)

高耐食用

高耐食溶融めっき鋼板 根太鋼・大引鋼

(JIS G 3317)(JIS G 3323)

被膜構成



特長

- ① 優れた溶接性
- ② 耐アルカリ性の改善
- ③ 優れた加工部の耐食性
- ④ 切断端面の耐食性を維持

平面部の耐食性比較

高耐食めっきの平面部は、マグネシウムを含む亜鉛、亜鉛-アルミニウム系保護被膜により、溶融亜鉛めっきに比べて優れた耐食性を発揮します。

溶融亜鉛めっき

高耐食めっき



※塩水噴霧試験2500時間後の表面外観を比較(めっきの付着量表示記号: K14)

端面部の耐食性

高耐食めっきの切断部は、めっき層から溶出したマグネシウムを含む緻密な亜鉛系被膜が端面部を覆うことにより優れた耐食性を発揮します。

暴露初期

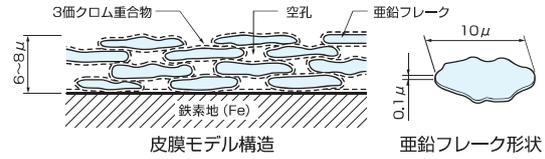
暴露三年後

板厚3.2mm



ダクロタイズド処理 支持脚・その他部品

- ダクロタイズドは微細な空間にも処理皮膜が浸透し、複雑な形状のものにも防錆力を保つことができます。



塩水噴霧試験の比較 (JIS Z 2371)

溶融亜鉛めっきZ12+ダクロタイズド処理	溶融亜鉛めっき(ドブ付) (450g/m ²)
2000時間 赤サビ発生	960時間 赤サビ発生

暴露試験の比較

- 厳しい塩害地域(米国ノースカロライナ州・キュアビーチ海岸より25m地点)



取扱い注意事項

製品に関する注意事項

- 本製品の品質には万全を期しておりますが、同色の製品間で若干の色のバラツキやご使用上で支障をきたさない範囲での変形がある場合がありますので予めご了承ください。また、紫外線等による経年退色の度合いについても製品間でバラツキが出る場合がありますので、予めご了承ください。
- 本製品は、温度や湿度変化等の自然条件によって伸縮や変形が発生する場合があります。弊社の施工マニュアルに基づいて正しく施工してください。
- 本製品は、長時間、吸水すると膨張変形する恐れがあります。製品の全部または、一部が常に濡れたり、湿った状態のご使用はしないでください。中空材の場合は、小口から入った雨水等が長期滞留しない構造としてください。また、デッキ設備の場合、下地構造材の排水不良や通風不良によって、長時間、高湿度状態になり吸湿変形する場合がありますので、排水口の詰まり防止やデッキ下の通気にご留意ください。
- 本製品は、温度や湿度変化、紫外線への曝露あるいは使用上の摩擦等によって表面に粉が発生することがあります。服などで擦りますと、この粉が付着して色が付くことがありますので、ご注意ください。
- 本製品に重量物を乗せたり先の尖ったもので突くと、破損や凹みが発生する恐れがあります。重量物を乗せる場合は、敷板等を使用して集中荷重を避けてください。
- 本製品は、難燃・不燃材料ではありませんので周囲での火気の取り扱いにご留意ください。また、設計上ご使用場所によっては関係法規により使用制限を受けますのでご注意ください。
- 特に夏の日差しが強い時は本製品の表面温度が上昇しますので、素足で歩くとヤケドする恐れがあります。
- 本製品表面に灯油、有機溶剤などが付着した場合は、すぐに洗ってください。そのまま放置すると変色する恐れがあります。
- 本製品上に鉄製の物を放置するとサビなどがシミとなりますので、ご注意ください。
- 雨や雪などにより、表面にシミが残ることがあります。これは、木粉の中に含まれる成分(リグニン、タンニン等)がシミの原因となったもので、初期のみに表れる現象です。

設計及び施工の注意事項

- 人工木材は熱により伸縮をしますので、必ず程度な目地幅を確保してください。(目地幅: デッキジョイント部 5mm以上、躯体等の設置部分 5mm~10mm …状況に応じて設定してください。)特に冬場及び寒冷地での施工では本製品が収縮していますので、夏場の伸びを考慮して程度な余裕を持った目地設定が必要です。

- 本製品の根太ピッチ寸法は規定寸法を必ず守ってください。
- 本製品の保管は立てかけたりしないで平積みしてください。輸木は400mm以下ピッチで置いてください。

お手入れ方法

- 本製品の表面はサンディング加工により天然木のような風合いを出しております。そのため、ホコリ等が付着することがあります。
- 雨シミ、汚れ、ホコリ、カビ、もらい錆等の洗浄
台所用中性洗剤で洗浄してください。
 - 汚れた表面に水を散布し、さらに中性洗剤を薄めて散布後、たわしやデッキブラシで木目に沿って擦り、水で洗い流してください。
 - 最後は乾いた布で拭き取ってください。
 - ※頑固な汚れになる前に定期的に洗浄をお勧めします。

施工上の注意

- 束石に施工はできません。土間コンクリート厚さ100以上(設計基準強度180kg/cm²以上)を確保してください。
- コンクリートは所定の養生期間を確保してください。
- 土間コンクリートに大きな突起、不陸がないようにしてください。(±15mm以内)
- 土間コンクリートと支持脚の固定は接着、鉄釘またはアンカーで堅固に行なってください。(防水層の上の設置はご相談ください)
- ボルトナットビス及び固定金具等は確実に固定し、ガタ付きや緩みが生じないように確実に施工してください。
- 躯体と大引鋼・根太鋼との間には適切な空間を設けてください。
- 組床の施工精度は仕上材の支障とならないように適切に行なってください。(施工精度は±5mm以内とする)
- 特殊な納まり(点検口廻り・複雑な入隅・出隅部分)には補強を入れるなど考慮してください。
- 標準施工に必要な事項は施工要領書及び製品カタログの内容を遵守してください。

フロアービルド
FLBsystem 永和床株式会社

本社 〒577-0016
(大阪営業所) 大阪府東大阪市長田西4丁目3-29
TEL.06-6748-6781代表 FAX.06-6748-6789

東北営業所 〒981-1104
宮城県仙台市太白区中田5丁目16-8旭レジデンス102号
TEL.022-748-6047代表 FAX.022-748-6048

東京営業所 〒101-0021
東京都千代田区外神田2丁目15-8長坂第3ビル2F
TEL.03-3253-0317代表 FAX.03-3257-1459

九州営業所 〒812-0007
福岡県福岡市博多区東比恵3丁目28-28田雑ビル1
TEL.092-292-8413代表 FAX.092-292-8414

南九州営業所 〒880-0021
宮崎県宮崎市清水3丁目10-3-103号
TEL.0985-82-6230代表 FAX.0985-82-6231

代理店